

令和7年度

自殺予防ゲートキーパー養成講座 ～ 相談支援者向け ～

日々の相談対応の中で、様々な困難を抱えた相談者と接する際、支援者として、その言葉をどのように受け止め、どんな声をかけたらいいか、迷ったことはありませんか。

自殺は、病気や仕事、生活苦、育児や介護疲れ、孤独・孤立など、様々な要因が複雑に重なり合った末に起こるものであり、そのサインに気づき、声をかけて、必要な支援につなぐことが重要です。

様々な場所で活躍する支援者で集まり、私たちができる支援について考えてみませんか。

日時

令和7年12月1日（月）
13:30～16:00

参加費無料
定員50名

〈対象〉 県北管内（福島市を除く）において
各種相談を受ける立場にある方

〈場所〉 県北保健福祉事務所 2階大会議（福島市御山町8-30）

内容

講義「ゲートキーパーとしての
受け止め方・関わり方」
演習 グループワーク

福島県立医科大学医学部

健康リスクコミュニケーション学講座

講師 竹林 由武 氏



申込方法

- ・ゆびナビぷらす（右のQRコードより）
- ・FAX（裏面申込用紙より）
- ・電話（下記の問合せ先）



問合せ先

福島県県北保健福祉事務所 障がい者支援チーム
電話：024-534-4300



■ 申込み・問合せ先

県北保健福祉事務所 障がい者支援チーム（福島市御山町 8 番 30 号）

■ 申込み方法

- ・ ゆびなびプラス： 右の QR コードからお申込みください。
- ・ F A X （ 0 2 4 - 5 3 4 - 4 3 2 5 ）： 下記の内容をご記載のうえ送付ください。
- ・ 電 話 （ 0 2 4 - 5 3 4 - 4 3 0 0 ）： 下記の内容についてお伝えください。



令和 7 年度自殺予防ゲートキーパー養成講座申込み

所 属		
参 加 者	職 名	
	ふりがな 氏 名	
電 話 番 号		
講 師 へ の 質 問		

※受講申込書に記載された個人情報は、本講座の運営管理の目的にのみ利用させていただきます。

—— 参加者の状況の確認のため、以下の設問にもご回答願います ——

あなたは、自殺予防のためのゲートキーパーとして、次の質問についてどのくらいできていると思いますか。

1「全くできない」～5「十分できる」のうち、当てはまる番号をひとつ選んで下記の枠内にご回答ください。

- ① 悩んでいる人を尊重する態度を心がけること
- ② 悩んでいる人に対してねぎらうこと
- ③ 悩んでいる人に心配していることを伝えること
- ④ 悩んでいる人の話を傾聴して、一緒に悩み考えること
- ⑤ 悩んでいる人に自殺念慮（自殺を考えているか）をたずねること
- ⑥ 悩んでいる人を支援する際に、社会資源を確認して活用したり、支援に関する情報提供をすること
- ⑦ セルフケア（自分で自分の心身の健康を管理）をすること

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
---	---	---	---	---	---	---

※小高真美、自殺予防ゲートキーパーとして最小限求められる知識やスキルの検討とその評価尺度「自殺予防ゲートキーパー知識・スキル評価尺度(GKS)」の開発、自殺予防と危機介入第 42 巻 1 号(2022)36－46 から引用